

岡村治男

東工大(機械物理)学士・修士。NTT 電気通信研究所(横須賀)、NEC 海底光ネットワークシステム事業部、および米国コーニング社の標準化部門を経て 2003 年 10 月(株)グローバルプランを設立して現在に至る。この間、IEC SC86C 光増幅器議長、ITU-T SG15 副議長から ITU-T TSAG で ITU-T 全般の作業プログラム、プログラム管理および戦略担当議長。東大非常勤講師、AIST(産業技術総合研究所)研究顧問、早稲田大学客員教授などを経て 2020 年 10 月現在、早稲田大学客員研究員、IECSC86C(光ファイバシステム・アクティブデバイス)議長、情報通信審議会専門委員。工学博士、E-MBA。

(著書:いずれも分担執筆)

光増幅器とその応用(英語版:アカデミックプレス、1994 年、第 13 章、日本語版:オーム社)、

光ファイバー計測および標準の傾向(英語版:Kluwer Academic Pubs, 1995、第 7 章)

光通信・光メモリ用語辞典 コロナ社

(表彰)

NTT 社長表彰(海底光ケーブル技術の実用化:共同受賞)

IEC 活動推進会議議長特別賞(2001)

IEC1902 賞(2001)

ITU協会功績賞(2002)

通信技術賞(総務大臣賞)(2014)。

2014 年、情報格差解消のための国際標準化を提案、エディタとなり以下の勧告を出版。

ITU-T L.1700(低価格化重視のコンセプト:2016)

ITU-T L.110(地表設置できる光ケーブル:2017)

ITU-T L.163(L.110 ケーブルの DIY 敷設法:2018)

<https://news.itu.int/new-standards-broadband-mount-everest/>

上記勧告に準拠した軽量・堅牢な光ケーブルを地表・地下・空中・水中に簡易に DIY 敷設できるソリューション BIRD を提案。ネパール政府が「Okamura Model」としてエベレストベースキャンプとアンナプルナトレッキングルートに投入すると発表。<https://www.thequint.com/news/world/nepal-free-wifi-mount-everest-basecamp> ソリューション BIRD は 2019 年、ネパール西部、海拔 1300 m の山村と、零下 40°C 以下になるモンゴル郊外に投入した。2020 年 10 月現在、ナムチェバザールからエベレストベースキャンプ間に敷設予定の光ケーブル(L.110 勧告に準拠、42km)は現場でコロナ待機中。